

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	8	歴史まちづくり総務費	260

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	文化財保護
事業目的	文化財の適切な保護措置や活用を推進することで、地域住民への文化財周知を行うとともに、犬山市に訪れる観光客へ文化財周知を行い、交流人口の増加を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会の運営や各地の事例研究により市内文化財の適切な保護・管理・活用を図る。 ・文化財関連イベントの開催等により文化財愛護精神の醸成を図る。 ・指定・未指定を問わず地域の文化財の総合的な保存活用を図るための文化財保存活用地域計画を策定する（令和2～4年度） ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会の運営 ・市内の文化財の保護及び活用 <ul style="list-style-type: none"> 試掘調査実施 天然記念物ヒトツバタゴ自生地維持管理 妙感寺古墳、磨墨塚史跡公園、羽黒城址西口広場などの維持管理 文化財看板の設置及び修繕 ・史跡整備市町村協議会への参加 ・文化財関連市民団体の支援 ・市内文化財の魅力を掘り起こし、広く周知するためのイベントを開催 ・犬山市文化財保存活用地域計画の策定（1年目） ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒトツバタゴ自生地管理指導業務 240千円 ・磨墨塚史跡公園清掃業務 528千円 ・市内文化財樹木伐採委託料 2,970千円 ・羽黒城址木竹処理委託料 1,195千円 ・文化財保存活用地域計画策定支援業務委託料 7,920千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・犬山市に残る貴重な文化財を後世に正しく残すために文化財の適切な維持管理を実施する。また、文化財関連市民団体の支援や、市内文化財を広く周知するためのイベントを実施することで、文化財に対する市民意識を醸成する。 ・文化財保存活用地域計画の策定過程においても市民の参加を求め、行政だけでなく、地域が一体となって文化財を保護する体制の構築を目指す。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
文化財保護一般	936	0	0	68	868	93%
文化財維持管理	6,221	0	0	1	6,220	100%
文化財保存活用地域計画策定	8,316	8,185	0	0	131	2%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	15,473	8,185	0	69	7,219	47%

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	8	歴史まちづくり総務費	263

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	歴史まちづくり
事業目的	文化財・歴史的資源の保護・活用を行うことにより当市の歴史的風致の維持向上を図りながら歴史まちづくりを推進する。また、より効果的な歴史的風致の維持向上のために補助制度の活用や重点区域の設定、計画の見直し等を随時行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史まちづくり法」に基づき国より認定された「犬山市歴史的風致維持向上計画」に基づき、事業を推進する。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史まちづくり協議会を開催し、「犬山市歴史的風致維持向上計画」の計画の進捗管理や評価及び計画変更の必要が生じた際の協議を実施。 ・歴史まちづくり協議会専門部会を開催し、犬山城下町における歴史まちづくりに必要となる専門的な議論や施策の調整・確認を実施。 ・歴史的風致を活かしたまちづくりにかかる情報交換のための会議に参加する。 (中部歴史まちづくりサミット・歴史的景観都市協議会等) ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史まちづくり協議会委員報酬 94千円 ・歴史まちづくり協議会委員旅費 153千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的風致維持向上計画に基づいた事業を実施することで、市内の歴史的風致の維持向上を図る。 ・犬山市歴史まちづくり連絡調整会議の開催により、庁内での情報共有を図りながら、歴史まちづくり事業における庁内の連携を高める。 ・各種会議を通じた歴まち認定都市との交流を積極的に深め、歴史まちづくりに関する情報共有を図りながら、他市町との協働を進める。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
歴史まちづくり推進	767	0	0	0	767	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	767	0	0	0	767	100%

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	9	歴史的資産保存・継承費	264

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	民俗文化財
事業目的	市内の有形・無形の民俗文化財を適切に保存し、後世へ正しく伝承する。伝統行事の継承の支援を通じてコミュニティの存続を促進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・市内の有形・無形の民俗文化財の適切な保存と後世への伝承 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・民俗的価値が高く、地域の生活文化の核として住民を結集する上で重要な役割を果たしてきた犬山祭の車山行事（ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財）を後世へ正しく継承する。また県指定有形民俗文化財である車山13輛についても文化財保護の立場から現況を把握し、有形・無形の双方併せた保護施策の推進を図る。 ・市指定無形民俗文化財である石上祭の継承と保護施策の推進を図る。 ・市内の各地域で守り伝えられてきた伝統行事（無指定）の継承と保護施策の推進を図る。 ・かつて市内で行われていた伝統行事等で、維持が困難となり、休止の状態が続いているものを復旧再開し、その継承を図る。 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・犬山祭伝承助成金 5,850千円 ・犬山祭山車保存修理補助金 2,973千円 ・犬山祭保存会助成金 2,000千円 ・民俗文化財復旧再開事業補助金 1,060千円 ●事業の実施に至った経緯 <ul style="list-style-type: none"> ・城下町及び旧農村部における人口の高齢化・少子化は、伝統文化の維持継承にも影を落としている。当地域に伝わる民俗文化財（祭り・伝統芸能等）を衰退変容の危機から守ることは、地域振興の観点からも重要であり、適切な保護措置を講ずる必要がある。 ●予測される効果 <ul style="list-style-type: none"> ・後継者の育成、道具の修理新調、記録作成などの保存事業の促進により有形・無形の民俗文化財が保護され、地域振興にも寄与する。
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「犬山祭の車山行事」を後世に正しく継承するため、計画に沿って保存修理事業を適切に行う（令和2年度は練屋町中幕復元新調）。 ・平成29年度～令和元年度に実施した石上祭総合調査の成果を基に、愛知県無形民俗文化財の指定に向けた申請手続きを行う。 ・市内の各地域で守り伝えられてきた伝統行事の継承のため、後継者の育成や道具の修理新調などの保存伝承事業を促進する（令和2年度は、後継者育成25団体の補助を予定）。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
犬山祭伝承保存	12,370	0	0	12,370	0	0%
民俗文化財保護	2,837	0	0	2,837	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	15,207	0	0	15,207	0	0%

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	9	歴史的資産保存・承継費	265

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	伝統的建造物
事業目的	現存の歴史的建造物の修理修景を行い保存を図ることで、歴史的な町なみを保存する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的建造物の修理修景を行い、歴史的な町なみの保存を図る。 ● 主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的建造物の修理修景費の一部を補助することで、伝統的建造物の保存を図る。 ・ 伝統的建造物の技術指導を行うことで、適切な伝統的建造物の修理修景を行う。 ・ 登録有形文化財課題研修会などに参加することで、国の動向や各地の先進事例、専門家の意見等の様々な情報を得る。 ● 主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的建造物保存委員会 146千円 ・ 伝統的建造物保存事業助成金 5,000千円
事業の目標	・ 犬山城下町に残る伝統的建造物の現存状況等について調査を行い、保存支援等を行うことで伝統的建造物の減失を食い止め、歴史的な町並みの保存を図る。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
伝統的建造物保存	6,071	2,000	0	3,000	1,071	18%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	6,071	2,000	0	3,000	1,071	18%

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	9	歴史的資産保存・継承費	266

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	東之宮古墳
事業目的	史跡東之宮古墳の恒久的な保存と、これまで実施した発掘調査成果等の周知・活用を図るために史跡整備を実施する。
事業内容	<p>●事業の全体計画 史跡東之宮古墳の恒久的な保存と、これまで実施した発掘調査成果等の周知・活用を図るため、史跡東之宮古墳整備事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡東之宮古墳整備事業 平成22年度～令和2年度 ・史跡東之宮古墳整備工事施工監理等業務 平成29年度～令和2年度 ・史跡東之宮古墳ARシステム開発 令和元年度 ・史跡東之宮古墳整備工事 オープニングイベント 平成28年度～令和2年度 ・東之宮古墳普及啓発事業 令和2年度 ・市民参加による墳丘修復事業 平成26年度～令和3年度～ <p>●主な事業内容 平成27年度に作成した基本設計、平成28年度に作成した実施設計をもとに、史跡東之宮古墳の恒久的な保存や活用に向けた史跡整備工事を実施する。史跡整備工事では、古墳及び周辺の樹木の剪定、遊歩道の整備、解説板の設置等を行う。 史跡整備工事完了後にオープニングを行う。</p> <p>●主な予算の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備実施設計監理委託料 5,302千円 ・東之宮古墳整備工事請負費 22,814千円 ・オープニング企画業務委託料 495千円 ・普及啓発事業委託料 301千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡整備工事を適切に実施することで、史跡の恒久的な保存を図る。また、東之宮古墳の遊歩道整備や、学習のための解説板を新たに設置することで、過去の発掘調査成果等の周知・活用を図る。 ・史跡整備後に適切に維持管理し、地域学習の場として多くの方に訪れていただくため、十分な検討を行ったうえで運用を行う。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
東之宮古墳一般事務	1,853	252	0	1,515	86	5%
東之宮古墳整備	29,171	11,187	5,400	12,584	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	31,024	11,439	5,400	14,099	86	0%

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	9	歴史的資産保存・継承費	266

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	青塚古墳史跡公園
事業目的	県下で2番目の大きさを誇る前方後円墳で、平成12年に史跡公園として整備し、供用開始した青塚古墳を適切に保存・管理する。史跡公園の管理・活用は、地域交流拠点となるよう周辺の地域住民や文化遺産との連携により行う。
事業内容	<p>青塚古墳史跡公園管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・平成12年に供用開始された青塚古墳史跡公園の適切な維持管理 ・民間団体（H27.7.1～R2.6.30はNPO法人ニワ里ネット）に活用・管理を委託 ・地域住民との協働による運営 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・史跡公園活用・管理委託 平成27年7月～令和2年6月（長期契約） <ul style="list-style-type: none"> * 令和2年7月より新たに5年間の長期契約を締結予定 ・学芸員による青塚古墳についてのガイダンスの実施や普及啓発事業の実施 ・地域（市外含む）と密着した自主事業「瀬波史楽座」等の開催 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・需用費（施設修繕等） 1,802千円 ・施設管理委託料（施設管理、普及啓発、保守、点検、警備） 9,537千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、施設点検時に劣化が確認された看板やベンチの修繕等を実施し、利用者の安全性、利便性を向上させる。 ・7月以降の新たな長期契約締結に際して、管理体制に不備のないよう注意し、施設のさらなる活性化を目指す。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
青塚古墳史跡公園管理	11,832	0	0	11,832	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	11,832	0	0	11,832	0	0%

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	10	伝統文化施設費	268

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	文化史料館
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犬山の歴史資料等の収集・保管・調査を推進するとともに、犬山城と城下町の歴史文化の紹介を行うガイダンス施設として、市民・観光客の文化財に対する理解を促進し、城下町の賑わいを創出する。 ・ からくり人形の展示や実演解説を通して国内外に日本のからくり文化の魅力を発信する。
事業内容	<p>文化史料館管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設及び所蔵品の適切な管理運営 ・ 所蔵品の展示公開等による犬山の歴史文化の紹介 ● 主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設及び所蔵品の管理運営を適切に行い、快適で魅力あふれる展示環境を維持する。 ・ 常設展、企画展、ワークショップ等を開催し、犬山の歴史文化に関する情報発信を行う。 ● 主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・ 需用費（光熱水費等） 4,543千円 ・ 委託料（清掃委託料等） 7,016千円 <p>文化史料館南館管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度から開館する施設の適切な維持管理 ・ からくり文化に関する資料の展示公開と情報発信 ・ 九代玉屋庄兵衛工房での人形の製作公開 ● 主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 犬山祭の山車からくりや関連資料を展示公開し、実演と解説を行う。 ・ 施設の企画活用業務を民間へ委託し、弾力的な活用を推進する。 ● 主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・ 非常勤職員報酬（からくり専門員） 2,880千円 ・ 委託料（企画活用業務他） 8,220千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画展と来館者への案内のレベルアップを図り、リピーターを増やす。 ・ ワークショップの開催により、新たな来館者層を開拓する。 ・ 図録とミュージアムグッズの販売を促進し、入館料以外の収入を増やすことによって、施設の歳入全体を増やす。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
文化史料館管理	12,474	0	0	11,849	625	5%
文化史料館南館管理	13,256	1,440	0	9,043	2,773	21%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	25,730	1,440	0	20,892	3,398	13%

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	10	伝統文化施設費	270

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	中本町まちづくり拠点施設				
事業目的	まちづくり活動の拠点としてコミュニティ団体及びまちづくり団体の活動を支援し、多世代交流を促進する。また、犬山祭の車山や関連資料を適切に保管・展示公開することにより、犬山城下町の伝統文化の魅力を内外へ発信する。更に、犬山城や城下の他の施設との連携を図り、相乗効果による地域の賑わいを創出する。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ団体及びまちづくり団体の活動を支援 ・犬山祭に使用する車山や犬山に伝わる資料の保管と展示公開 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・展示ホールにて犬山祭の車山4輦を展示し、光と音の演出で祭り当日の雰囲気再現する。展示室では犬山祭・城下町の映像と関連資料の展示により犬山の魅力を発信する。 ●主な予算の内訳 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>・需用費（施設修繕等）</td> <td style="text-align: right;">2,888千円</td> </tr> <tr> <td>・施設管理委託料（施設管理、保守・点検等）</td> <td style="text-align: right;">5,051千円</td> </tr> </table> ●事業の実施に至った経緯 <ul style="list-style-type: none"> ・平成12年度の開館以来、まちづくり活動の拠点として、また犬山祭の車山13輦のうち4輦を収蔵・展示する施設として、地域住民に管理を委託して運営を行っている。 ●予測される効果 <ul style="list-style-type: none"> ・市民のまちづくり活動を促進するとともに、犬山城や城下の他の施設との連携を図り、相乗効果による地域の賑わいを創出する。 	・需用費（施設修繕等）	2,888千円	・施設管理委託料（施設管理、保守・点検等）	5,051千円
・需用費（施設修繕等）	2,888千円				
・施設管理委託料（施設管理、保守・点検等）	5,051千円				
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内のスペースを提供することにより、コミュニティ団体及びまちづくり団体の活動を支援する。 ・施設管理を地元中本町町内会に委託し、予算削減に努めている。 ・犬山祭に使用する車山や犬山に伝わる資料の適切な保管と展示公開を実施し、犬山の魅力を内外に発信して地域の賑わいを創出する。 				

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
中本町まちづくり拠点施設管理	8,041	0	0	4,307	3,734	46%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	8,041	0	0	4,307	3,734	46%

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	10	伝統文化施設費	270

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	旧磯部家住宅復原施設
事業目的	登録有形文化財「旧磯部家住宅」を適切に維持管理・公開し、犬山の町家文化に関する情報発信を行う。町屋まちづくり拠点施設として多世代交流を促進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・犬山市が目指す「歴史を活かしたまちづくり」を推進するため、登録有形文化財である旧磯部家住宅を適切に維持管理し、一般公開する。来館者に犬山の伝統的な町家の雰囲気に触れてもらうと同時に、城下町への町歩きを促す。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・犬山城下町の町屋の維持公開及び町家文化に係る資料の展示 ・コミュニティ団体及びまちづくり団体の活動支援 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理委託料（施設管理）2,941千円 ●予測される効果 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史資産を保存活用することにより、住民の郷土への愛着を育み、地域活性化へとつなげる効果が期待できる。 ●他の自治体との比較 <ul style="list-style-type: none"> ・各自治体において文化遺産を地域活性化に活かす取り組みが進められ、歴史的建造物の保存活用が推進されている。
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理を「特定非営利活動法人犬山城下町を守る会」に委託し、建物を適切に維持管理して予算削減に努める。 ・町家文化に関する情報発信を行うとともに、犬山北のまちづくり推進協議会磯部邸事業企画部会の協力で各種イベントを開催し、町家まちづくり拠点施設としての役割を担う。 ・貸室は利用者が増加傾向であるが、引き続き幅広い使用を促進し地域活性化に貢献する。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
旧磯部家住宅復原施設管理	4,298	0	0	262	4,036	94%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	4,298	0	0	262	4,036	94%

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	10	伝統文化施設費	272

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I : 事業概要

施策事業名	旧堀部家住宅
事業目的	登録有形文化財である建物を適切に管理し、安全な利活用を推進する。市民参画による運営を支援し、城下町南地区の賑わいを創出する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・登録有形文化財である建物の適切な管理と安全な利活用を推進する。 ・民間活力による運営を支援する。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・建物の点検を実施し、保存修理が必要な箇所を早期に把握する。 ・腐朽が認められる南側瓦積板塀を修繕する。 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 91千円（日本語、英語パンフレット 各500部） ・修繕料 1,243千円（南側瓦積板塀修繕など） ・施設管理委託料 468千円（消防設備保守委託料、警備委託料など） ●予測される効果 <ul style="list-style-type: none"> ・運営に係る人員の削減と管理費の低減 ・文化財建物の適切な管理と安全な利活用の推進 ・文化財の理解促進と意識高揚 ・城下町南地区の賑わいの創出
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ●登録有形文化財である建物を適切に管理し、安全な利活用を推進する。 ●民間活力を生かした利活用を支援し、城下町南地区の賑わいを創出する。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
旧堀部家住宅管理	1,896	0	0	362	1,534	81%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	1,896	0	0	362	1,534	81%

令和2年度 予算説明書

特別会計名	予算書(P)
犬山城費特別会計	340

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I : 事業概要

施策事業名	犬山城一般管理
事業目的	公益財団法人犬山城白帝文庫が所有し、犬山市が管理する国宝犬山城天守及びそれに付帯する土地について適切に保存、管理を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・入場登閣者の対応と国宝犬山城天守及びそれに付帯する土地の適切な保存、管理（毎年） ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営業務の実施 ・城郭内修繕の実施 ・城郭内樹木剪定 ・城郭内営繕工事 ・犬山城管理委員会の開催 ・入場登閣券、入場者用パンフレット等の印刷 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・城郭内修繕 <ul style="list-style-type: none"> ○犬山城茶室畳替修繕 161千円 ○その他 1,500千円 ・城郭内工事 <ul style="list-style-type: none"> ○火災報知器取替工事 242千円 ○犬山城入場門ドライミスト設置工事 10,052千円 ○犬山城登閣道補修工事 1,465千円 ○便所改修工事 3,501千円 ○犬山城管理事務所屋根葺替工事 18,810千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ●適切な運営業務 管理運営業務、各設備保守点検業務等を円滑に行い、施設の運営及び安全管理を適切に行う。 ●工事及び修繕 き損、劣化した部分の修繕及び工事を着実に施工して、適切な施設設備の維持を行う。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
一般管理	176,795	0	0	589	176,206	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	176,795	0	0	589	176,206	100%

令和2年度 予算説明書

特別会計名	予算書(P)
犬山城費特別会計	342

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	犬山城調査・整備
事業目的	「国宝犬山城天守」及び「史跡犬山城跡」の適切な管理を実施し、管理団体として文化財を恒久的に保存する責務を果たす。また、残存する遺構等の調査を推進し、史跡の追加指定を目指すと共に恒久的な保存活用に向けた整備方法を検討する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○調査事業 <ul style="list-style-type: none"> 【犬山城及び旧城郭に関する遺構等の調査業務の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ・石垣詳細調査（令和2～5年度）※国庫補助事業 補助率1/2 ・犬山城遺構調査[門・櫓等]（令和2年度～） ○保存活用事業 <ul style="list-style-type: none"> 【国宝犬山城天守及び史跡犬山城跡の恒久的な保存活用に向けた検討】 <ul style="list-style-type: none"> ・「(仮)国宝犬山城天守・史跡犬山城跡保存活用計画」策定（平成30年度～令和2年度） ※国庫補助事業 補助率1/2 ・旧城郭の整備に係る検討 ・犬山城管理委員会専門部会の開催 ・普及啓発事業（シンポジウム・講座等）の実施 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産登録に向けた調査等 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・石垣詳細調査委託料 8,997千円 ・樹木・植生調査委託料 6,512千円 ・犬山城保存活用計画策定委託料 7,480千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）国宝犬山城天守・史跡犬山城跡保存活用計画を策定し、犬山城の保存活用の方向性を定める。 ・計画策定と併せて、遺構等の調査を進め、将来的な保存整備のための基礎データを取得する。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
調査・整備	32,651	9,159	0	1	23,491	72%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	32,651	9,159	0	1	23,491	72%